

平成16年8月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成16年1月30日

上場会社名 株式会社トーセ (コード番号: 4728 東証・大証第1部)

(URL <http://www.tose.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 齋藤 茂

問合せ先責任者 取締役 坂口 次郎

TEL (075) 342-2525

1. 四半期連結業績の概況の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 有

・影響額が僅少なものについて、一部簡便的な方法を採用しております。

(2) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 無

2. 平成16年8月期第1四半期の連結業績概況(平成15年9月1日~平成15年11月30日)

(1) 売上高 (金額の表示 百万円未満切り捨て)

	百万円	%
16年8月期第1四半期	450	(-)
15年8月期第1四半期	-	(-)
(参考)15年8月期	3,796	

(注) 当第1四半期より四半期業績の開示を実施しておりますので、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載を省略しております。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期は、ゲームソフト開発事業で開発完了を迎えるタイトルが少なく、既に開発完了したタイトルもロイヤリティ売上の回収期を迎えていないことから、当連結会計期間の中でも売上高が偏重し、少額となっております。

ゲームソフト開発事業の状況は、開発業務が順調に推移し、計画を上回る売上高となりました。一方で、モバイル・インターネット開発事業の状況は、ロイヤリティ売上が計画を上回り好調に推移したものの、開発業務のズレにより開発売上及び運営売上が計画を下回ったことから、売上高は計画をやや下回りました。

この結果、当第1四半期の全体の売上高は4億5,000万円と概ね計画通りとなりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態および経営成績に重要な影響を与えた事象

第1四半期の経常利益は、開発原価及び一般管理費の削減等により計画を上回りました。

しかし、純利益は、株式会社デジキューブが自己破産の申立てを行なったことに伴い、当社保有の同社株式の評価損4,900万円が発生したことから特別損失を計上し、計画を下回りました。

2. 16年8月期の連結業績予想(平成15年9月1日~平成16年8月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	1,558	110	22
通期	4,605	792	406

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 45円30銭

[業績予想に関する定性的情報]

中間期の連結業績予想につきましては、売上面では当初予想通りとなる見込みです。利益面では、第1四半期での開発原価及び一般管理費の削減等に加え、中国子会社等でのコストの削減効果も期待できることから、経常利益は当初予想を上回る見込みです。しかし、純利益は、前述の株式会社デジキューブが自己破産の申立てを行ったことにより発生した特別損失4,900万円の計上で、当初予想通りとなる見込みです。

通期の連結業績予想については、下半期業績が当初発表予想と比較して大きな変動もなく順調に推移すると見込んでおり、今回の中間期連結業績予想に当初予想の下半期業績を積み上げて算出しております。

業績予想につきましては、本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。